



平成23年度一般会計補正予算(第4号)及び特別会計補正予算4議案が可決されました。

一般会計

庁舎用地取得事業

Q 計画的な借地取得の考えについて。

A 財政課長 18年度に策定した借地問題の解消に向けた基本的方針に基づき、短期的、中期的、長期的な対応により財源を確保する。その中で余剰財源を基金に積み増しするなどして対応していく。

市内公共交通実証運行事業

Q 国庫補助金について。

A 総務人権推進課長 23年度から制度が変わり、地域公共交通活性化・再生総合事業費補助金から、地域公共交通確保維持改善事業費補助金となった。

小学校体育館耐震補強事業

Q 繰越明許する理由について。

A 学校教育課主席主幹 国の三次補正交付金の見込みがつかないため、事業の前倒しをしていくものである。

市道758号線整備事業

Q 市道167号線の拡幅についての交渉の経過は。

A 道路建設課長 初めに20年6月8日に全体説明会を実施した。その後もマンション敷地の説明会を段階的に行い合計8回実施した。おおむねマンションの住民からは理解を得られている。

一本松地区地区計画

環境整備事業

Q 都市施設整備基金から繰り入れをやめた理由は。

A 財政課長 当初予算の見込みでは、都市施設整備基金を財



市内を走るつるワゴン

源とする予定であったが、全体の財源を調整する中で基金の繰り入れをなくしても一般財源の中で賄える見通しとなったためである。

鶴ヶ島第二小学校用地取得事業

Q 第二小学校用地の借地の状況と他の学校施設の借地の状況は。

A 学校教育課主席主幹 今回の取得後の第二小学校の借地率は50・4割で地権者は6人、他の学校の状況は、杉下小学校に借地があり、借地率は64・1割で地権者は2人である。

児童就学支援事業

Q 東日本大震災の影響で東北3県から市内に避難してきている児童への就学支援の状況と人数

特別会計

国民健康保険

A 学校教育課主席主幹 学用品費、修学旅行費、学校給食費などの援助で、市民に通常行っている内容と同じであり、現在は小学生7人、中学生徒2人である。

Q 後期高齢者被保険者数と総人口に占める割合は。  
A 保険年金課主席主幹 4472人で本市の人口約7万人のうち約6・54割。  
介護保険事務費に要する経費等を補正するものです。



後期高齢者医療

23年度歳入歳出予算を精査し、一般被保険者療養給付費保険者負担金、財政調整基金積立金等の追加に要する経費等を補正するものです。  
後期高齢者医療広域連合納付金の追加に要する経費等を補正する

▼3月補正予算の状況 (単位：千円)

会計別	補正額	補正後の額
一般会計	438,638	18,910,512
国民健康保険特別会計	816,863	7,177,107
後期高齢者医療特別会計	6,908	384,753
介護保険特別会計	△4,359	3,109,309
一本松地区画整理事業特別会計	△22,981	234,711

▼一般会計補正予算の内訳 (単位：千円)

歳入(財源)の内訳	補正額
市税	△12,000
自動車取得税交付金	△10,000
国庫支出金	76,277
県支出金	16,681
財産収入	16,626
繰入金	△271,654
繰越金	371,336
諸収入	55,772
市債	195,600
歳入合計	438,638

歳出(使途)の内訳	補正額
議会費	323
総務費	145,069
民生費	6,303
衛生費	5,388
農林水産業費	640
商工費	199
土木費	△27,401
消防費	△11,807
教育費	342,626
公債費	△24,570
諸支出金	1,868
歳出合計	438,638